

特集

『農と食をもっと身近に』を
開催しました！



9月7日(土)、JAさっぽろ准組合員コンベンション2019『農と食をもっと身近に』を共済ホールにて開催しました。

このコンベンション(集会)は、准組合員に対して生活に欠かせない「食」と、食を生み出す「農をもっと身近に感じてもらう」、札幌の農業を応援してもらいたいという願いから、2017年に初開催し、今回が2回目。准組合員向けに発行する「コミュニティ情報誌「虹のしずく」や当JAホームページなどを通じて参加者を募りました。

当日は、2522名の准組合員やそのご家族の方に加え、各地区役員や青年部員・女性部員など47名の正組合員の方々にもご参加いただきました。



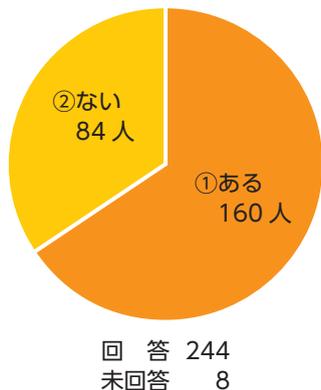
△ご参加いただいた方々を前に挨拶した軽部副組長。

今回は、前回にはなかった新たな取り組みとして、開会前に札幌産野菜を販売する「じもとのやさい」コーナーを設置。「農業の町、札幌」をPRしました。また、女性部本部役員の方々に協力いただき、南支店伝統の梅漬けや女性部員の手作り品などを展示・販売。女性部と来場した准組合員のふれあいの場になったと同時に、女性部の様々な活動を広める良い機会となりました。

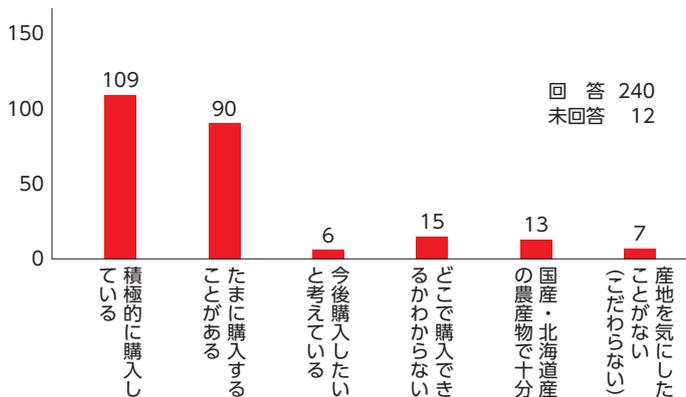
開会挨拶で軽部副組長は、「札幌でも農業の担い手や後継者不足といった課題があるものの、まだまだ元気な農業があります。地域の農業を豊かにするのは、農業者だけではなく地域の皆さんの理解も重要であると考えています。皆さんには、札幌の農業の応援団になっていただきたい」と参加者に呼びかけました。

今回のコンベンションは、2部構成で講演会を実施。第一部では、北海道大学大学院農学研究院の小林国之准教授に「もっと知ろう！農と食と農協のこと」をテーマに、農協の成り立ちや准組合員のあり方について講演いただきました。

JAさっぽろの農業イベント（JAまつり・収穫祭・苗物市等）に行ったことがありますか



札幌市内で生産された農畜産物をどの程度購入していますか



Q、地域の食と農に対する意識について

今回のアンケート結果と皆さまからいただいたご意見の一部をご紹介します。

「地域の食と農を応援するに当たり、必要なこと・求めることなどのご意見」

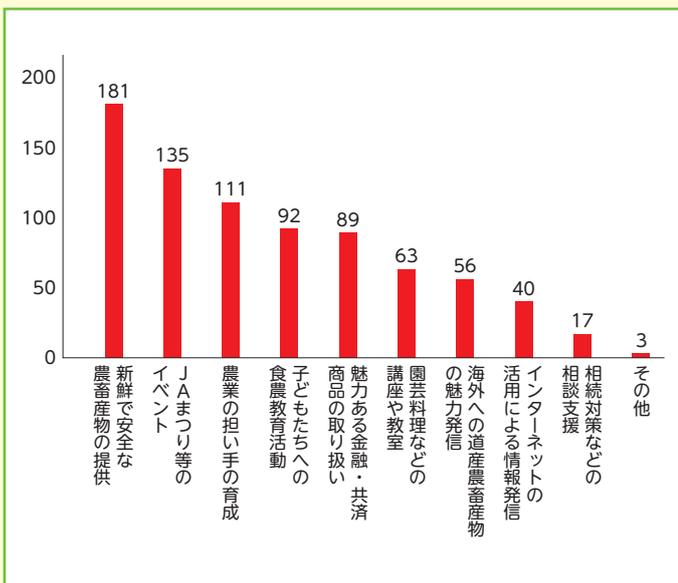
- ・地元農畜産物の購入場所がわからない。
- ・農業のお手伝いのできる仕組みを考えてほしい。准組合員を農業に近づけることが必要だと思う。
- ・地元の食材を購入することが生産者の応援であり、私たちは鮮度が良いものをいただけるのが嬉しい。
- ・食品購入はスーパーマーケットがメインなので、もっと「札幌産」の農産物を並べれば普通に売れると思います。
- ・地元野菜の直売所が街の中にあると良い。

「これからの農業に期待することについてのご意見」

- ・生産者と消費者の交流、農産物を購入するための販売所を増やす。
- ・次の担い手の方が自分から続けたいと思える農業にするために消費者の私たちも北海道（日本）のものを買うなどの支援が必要だと思います。
- ・地元で作っている食をもっと学校に展示したり、給食の栄養指導の中でどう取り入れて伝えていくかが大切だと思う。
- ・安全で安定した供給を今後も続けてほしい。



Q、JAさっぽろやJAグループが今後重視すべき取り組みについて



「JAに対するご意見」

- ・若者が就農に魅力を持つ機会を作るべき。食の面白さや楽しさを表現してほしい。
- ・信用事業を利用して、JAの特徴を活かした農産物などの景品を用意した方が利用者も生産者もメリットがあるのでは。
- ・組合員はもとより、一般市民（消費者）の味方の組織として頑張してほしい。



野菜買うなら地元産！篠路・北札幌地区で大収穫祭開催

9月21日(土) 篠路地区

野菜販売は入場制限をかけるほどの盛況ぶり！女性部篠路支部特製のたまねぎドレッシングを地元産レタスに添えて試食できるコーナーや青年部員による焼き鳥などの露店も人気を集めました。野菜のイラストコンテストには、たくさんの子どもたちが参加してくれました。



10月6日(日) 北札幌地区

午前9時のオープンを前に、この日を待ちわびた人々で会場前には長蛇の列が！地区の特産品たまねぎをはじめ、新鮮な地元野菜が飛びように売られていました。自動車共済や住宅ローンのお見積りキャンペーンブースも設置し、JA事業のPRも行ないました。



 10月5日(土)
とれたてっこ南生産者直売所

とれたてっこ南の収穫感謝祭 お買い得&お楽しみ盛りだくさん

とれたてっこ南生産者直売所では、年に1度の「収穫感謝祭」を開催しました。今年は土曜開催とあって、平日に開催していた例年よりも、さらに多くの方にご来場いただきました。

店舗の外にも売り場を広げたこの日は、日頃から商品を出品している生産者たちも店頭立ち、地元の農産物を販売。午前9時半のオープンから多くの方が詰めかけ、1時間ほどで完売する商品もありました。先着200名への牛乳無料配布や、米や野菜・果物などが当たる抽選会、ニンジンと洋ナシの詰め放題も好評で大盛況となりました。





組合員の活動をご紹介します!

a l a c a



9月24日(火)
厚別統括支店 1統括支店 1協同活動

近くで見る牛は、迫力満点！ 毎日飲んでいる牛乳のヒミツに迫る

厚別統括支店では、(有)小林牧場・新札幌乳業㈱にご協力いただき、信濃小学校4年生児童99名を招いて牧場見学と牛乳が出荷されるまでの工程を学ぶ食育授業を行ないました。

小林牧場では、圧倒されるほど大きな搾乳牛や生まれたばかりの子牛を観察したほか、搾乳舎などの施設を見学しながら、専務の小林智行さんに牧場の日々の仕事について説明していただきました。その後、厚別支店に場所を移し、牧場から新札幌乳業㈱に届けられた生乳が、様々な商品となって出荷される工程を学びました。信濃小の給食では、新札幌乳業㈱の牛乳が毎日届けられており、馴染みある牛乳の話に児童は興味津々。酪農や牛乳について多くの質問があがり、より関心を持つきっかけとなったようです。



小林牧場は、ホルスタイン550頭を飼育しています。



小林牧場の小林さん、新札幌乳業の中澤卓司さん、引地あけみさん。(左から)



「小林牧場物語のむヨーグルト」が振舞われ、大喜び!



9月25日(水)
北札幌統括支店 1統括支店 1協同活動

丘珠小3年生が選果センターを訪問 たまねぎが出荷されるまでを学習

北札幌統括支店では、丘珠小学校3年生31名を玉葱選果センターに招き、選果作業の見学会を行ないました。

選果センターでは、原料の受け入れから、みがき、選別、梱包など一連の流れを間近で見学。各作業場では地区役員・青年部・女性部・玉葱部会の方々が機械の仕組みやその作業の必要性などを解説しました。選別作業では、機械に加え、手作業で傷みの有無や規格を確認する作業員の素早い手さばきに児童の目はくぎ付け！見学後には、児童もサイズ板を使って玉葱を規格ごとにわける作業を体験しました。児童からは、「出荷できなかった玉葱はどうするのか」「ダンボール箱には何個くらいの玉葱が入るのか」などたくさんの質問があがり、地元特産品の玉葱について理解を深めていました。





9月28日(土)

南統括支店 1統括支店 1協同活動

米作りの苦労実感 「こがねの里」で稲刈り体験

南統括支店では、同地区組合員の土田栄子さんからお借りした水田「こがねの里」に市内在住の親子8組24名と札幌新陽高校の生徒11名を招き、稲刈り体験を行ないました。

同地区で稲作を営む南里正博さんがはじめに手本を見せ、一斉に稲刈りスタート！参加者は、カマを慎重に使いながら稲刈りを楽しんでいました。また、新陽高生は、「はさかけ」するために刈り取った稲を束ねる作業も行ない、2時間ほどで作業は終了しました。

参加した新陽高生は、「稲刈りを通して、自分達が食べているお米を作るのに大変な苦労があることが分かりました。これからもお米を大切にたくさん食べて、体を大きくしていきたいと思います」と話していました。

収穫したお米は後日精米され、参加者にプレゼントする予定です。



2年前から続く新陽高校との連携。今年は野球部から参加希望者を募りました。



参加した親子の皆さん。毎年参加している家族も多数！



10月3日(木)

白石統括支店 1統括支店 1協同活動

例年以上に大豆豊作で大満足

白石統括支店では、同地区組合員の宮崎勝吉さんの畑に東札幌小学校3年生児童90名を招き、「鶴の子大豆」の収穫体験を行ないました。

今回収穫した大豆は、6月初旬に「サッポロミドリ(エダマメ)」と一緒に植え付けを行なったもの。今年は、サッポロミドリが夏休み中に収穫期を迎えてしまい、児童の収穫体験は今回が初めてです。

今年のお豆は、例年以上に実入りが良く、豊作。収穫開始の合図とともに児童は根本から大豆を次々と引き抜き、収穫作業はすぐに終了しました。その後も児童は畑におちた葉や茎、雑草などを積極的に拾い集め、畑はあっという間にきれいになりました。

今回収穫した大豆は、学校で十分に乾燥させてからきな粉に加工して味わう予定です。





組合員の
活動をご紹介します!

a l a c a



9月21日(土)~22日(日)

J A さっぽろ青年部

さとらんど「たまねぎフェスタ」 青年部員が札幌産農産物をPR

J A さっぽろ青年部(平賀農部長)では、農業PR事業の一環として、サッポロさとらんどで行なわれた「たまねぎフェスタ」にて、札幌産農産物と茹でとうきびの販売を行ないました。

今回、同青年部からは出品者と販売者合わせて20名の部員が参加。玉葱をはじめ、ほうれん草、とうきび、レタス、ミニ

トマト、カボチャなど生産者が丹精込めて育てた野菜が多数並びました。1日目・2日目ともに快晴となり、2日間で用意したほとんどの商品が完売。札幌産農産物を多くの市民にPRする良い機会となりました。

「たまねぎフェスタ」は、サッポロさとらんどの主催で毎年行なわれており、今年で9回目。玉葱の知識を広めることを目的に、玉葱を使った料理や加工品が多く販売されるほか、クイズやゲームも行なわれ、毎年多くの家族連れで賑わっています。



10月2日(水)

女性部西町支部

D51ステーションでSL見学 未だ震災の爪あとと残る厚真町も訪問

女性部西町支部(竹本美知子支部長)では、部員20名が参加し、安平・千歳方面への見学会を行ないました。

安平の道の駅D51ステーションでは、当時のSL機関車の見学や買い物を楽しみました。その後、昨年の震災で被害が特に大きかった厚真町を視察。当時の被害の大きさを改めて認識するとともに、復興にはまだまだ時間を要する現実を目の当たりにしました。恵庭の釜めし「いちえ」の昼食は、そのおいしさに一同感動! 恵庭の道の駅と千歳のルタオで買い物を楽しみ帰路につきました。

終日天候にも恵まれ、10月とは思えない程の暖かさで思い出に残る見学会となりました。

(野崎特派員)





10月8日(火)
女性部琴似支部

山内恵介の美声に酔いしれる

女性部琴似支部(佐藤京子支部長)では、部員と部員ご家族26名が参加し、札幌文化芸術劇場hitaru(ヒタル)で開催された「山内恵介全国縦断コンサートツアー2019」を鑑賞しました。

当日は気温が低く、あいにくのお天気でしたが、会場内はコンサートを楽しみに来た観客の熱気に包まれ、暑さを感じるほどでした。コンサートは、歌はもとより、きらびやかな衣装や歌の合間のお話も楽しく、大変充実した時間を過ごしました。



(中谷特派員)

9月9日(月)
酪農畜産部会琴似・手稲支部

デントコーン収量調査を実施



酪農畜産部会琴似・手稲支部(萩中昭夫支部長)では、部会員10名が参加し、令和1年度 デントコーン収量調査を実施しました。

今回は、午前9時に近藤牧場より車5台を連れ出発し、3地区(3戸3圃場)に分かれて行ないました。本年は、春先が平年より高温で降水量が少なく、は種作業は順調に終わり、出芽揃いも良く栽植密度が高くなりました。生育期間中は高温・少雨傾向で推移したため、登熟はやや早く進みました。

調査後、関係機関から「生収量が昨年より高く、平成29年より低かったが、登熟が進んだ事で乾物率が高く、乾物収量は、ここ3ヶ年で最も高かったため、TDN収量が高く栄養価の高いものとなった」との講評をいただきました。

(増田特派員)

9月26日(木)
青色申告会豊平東部支部・資産管理部会豊平支部

部会発足後初！合同日帰り研修へ

青色申告会豊平東部支部(樋口栄一支部長)と資産管理部会豊平支部(山田和彦支部長)では、会員14名が参加し、部会発足後初めての合同日帰り研修を実施しました。

午前の部は、ニッカウヰスキー(株)の工場見学・試飲や柿崎商店でのお買い物を楽しみ、ホテルノルド小樽のランチバイキングへ。午後からは、(株)ミツウマ工場で、普段見ることのできない特殊環境用作業靴や建設用部材等の製造作業を見学しました。

最後に北海道ワインおたるワインギャラリーにて試飲・お買物を堪能し帰路に着きました。

天候にも恵まれ、皆さん大満足の充実した日帰り研修となりました。



(前川特派員)

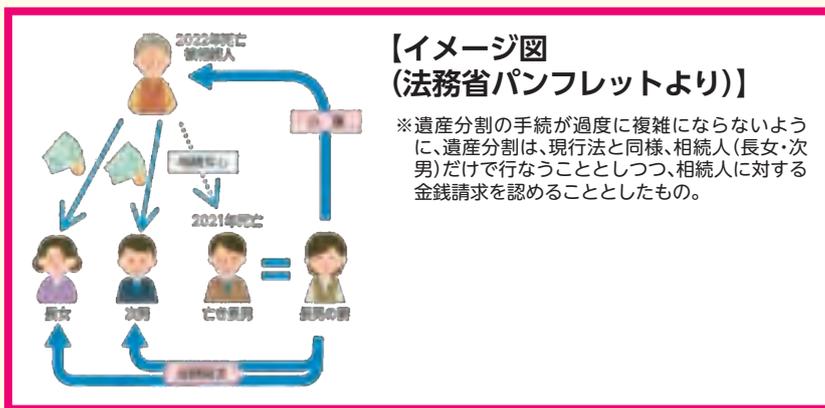
不動産プラザ通信

相続に関するルールが大きく変わります(民法改正) ～2019年1月13日から段階的に施行されています～

民法には、被相続人の財産がどのように承継されるか等に関する基本的なルールとなる「相続法」が定められています。今回、約40年ぶりに相続法のルールが大きく見直されていますので、改正されたルールの一部をご紹介します。

I. 特別の寄与の制度の創設 (2019年7月1日施行)

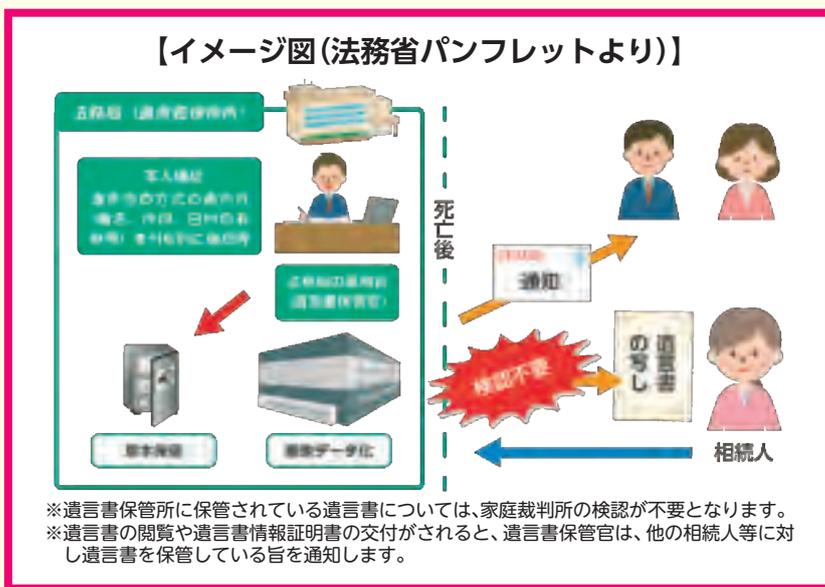
今回の改正により、相続人以外の者であっても無償で被相続人の介護や看病に貢献した場合や、被相続人の財産の維持または増加について特別の寄与をした場合には、相続人に対し金銭を請求することができるようになりました。



II. 法務局における自筆証書遺言の保管制度の創設(2020年7月10日施行)

2020年7月10日から、法務大臣の指定する法務局に自筆証書遺言書の保管を申請する事ができます。保管に関する手続き方法や手数料額等については、施行日までに政省令で定められることとなっています。

なお、2019年1月13日より自筆証書遺言の作成方式が既に緩和されており、財産目録についてはパソコン等で作成する事が可能になりました。ただし、自筆証書遺言書の本文については従来通り手書きで作成しなければならない事、財産目録の全頁に遺言者の署名押印が必要である事等の要件もあるので取扱いには注意が必要です。



III. その他の主な改正

① 配偶者居住権と配偶者短期居住権の新設(2020年4月1日施行)

※一定の要件に基づき終身または一定期間、被相続人の居住建物に無償で住むことができる権利。

② 預貯金の払戻制度の創設(2019年7月1日施行)

※資産分割前でも、一定の範囲で預貯金の払戻を受けることができる制度。

③ 遺留分制度の見直し(2019年7月1日施行)

※遺留分侵害額に相当する金銭の請求が可能となりました。なお、遺贈や贈与を受けた者が金銭の準備に時間を要する場合は、裁判所に対し支払期限の猶予を求めることができます。

今回の記事は、法務省発行のパンフレットや政府広報オンラインの記事を基に相続法改正の一部をご紹介します。民法(相続法)改正に関する詳細やその他の改正については、法務省のホームページ等で改めてご確認ください。

予約購買に大きなメリット！ 令和2年度営農資材のご購入は、 予約取りまとめをご利用ください！

12月27日(金)
まで
お申込可能！

予約購買奨励金(肥料・農薬)

- 取りまとめにてご注文された組合員の方が奨励の対象であり、更に肥料・農薬の購入金額の合計が10万円以上(税抜)が該当となります。
- 奨励率は金額に応じて5段階に設定されています。

基準金額	肥料+農薬奨励率
10万円以上	1.0%
20万円以上	3.0%
70万円以上	5.0%
100万円以上	8.0%
150万円以上	10.0%

肥料引取奨励金

- 取りまとめにてご注文された組合員の方で、定められた期間に店頭引取りをされた方を対象とします。
- 店頭引取りをされた数量を重量換算し、3.5円(税込)/kgの奨励を実施いたします。
※端数切り捨て

ご不明な点は、お近くの経済センターへお問い合わせください。

南経済センター 591-4141
西経済センター 682-7161
東経済センター 883-2570

北札幌経済センター 781-7393
北経済センター 771-2113



イオン北海道ホクレンフェアで 札幌産野菜をPR

9月27日(金)~30日(月)、イオン北海道全店でホクレンフェアが開催されました。イオン札幌平岡店では、JAさっぽろブースを設置。札幌黄タマネギをはじめ、ポースターほうれん草、小松菜、札幌大長ナンバン、札幌白ごぼうなど多くの野菜を販売・PRしました。

地元産の野菜が手頃な価格で買えるとあって、催事会場は連日大賑わい。多くの来店客が、札幌産野菜を手にとっていました。



▲ファイターズのマスコットキャラクター「ポリー」も詰め放題に挑戦していました。

理事会だより

◆第6回定例理事会

令和元年9月27日（金）午後1時00分より
本店役員会議室において第6回定例理事会
が開催された。

●協議事項

- 1、総代選挙に伴う選挙・投票・開票管理者並びに選挙・投票・開票立会人の選任について

令和元年7月30日開催の第4回定例理事会にて決定した令和元年11月8日を選挙日とする総代選挙にかかる各管理者並びに各立会人が説明され、可決決定。

- 2、地区運営協力委員会等の地区定数変更について

白石地区4名、西町地区1名の地区委員が地区の正組合員の高齢化に伴い減員される事が説明され、可決決定。

- 3、役員使用パソコンの入れ替えに伴うリース契約について

入替理由、導入先、導入金額、リース先、リース期間、リース金額等が説明され、可決決定。

- 4、令和元年度燃料手当の支給について

支給基準単価及び支給額等の内容が説明され、可決決定。

- 5、令和2年度予約購買奨励金について

組合員の奨励施策の一環とする、予約購買（肥料・農薬の取りまとめ分）の購入額に对应した奨励を行なう事を目的とした内容について説明され、可決決定。

- 6、令和2年度肥料引取奨励金について

組合員の奨励施策の一環とする、肥料の取りまとめ分に限り、店頭引取をされた組合員に対する奨励内容について説明され、可決決定。

●報告事項

- 1、みのり監査法人期中監査Ⅰ結果概要報告
- 2、准組合員コンベンション2019来場者アンケート結果について
- 3、臨時地区運営協力委員会における質問・意見等について
- 4、地区別懇談会開催日程の変更について
- 5、内部けん制機能の一斉点検の結果報告について
- 6、特別債権等の処理状況報告
- 7、重要管理債権経営状況等報告
- 8、令和元年度第3四半期余裕金等運用計画額及び運用方針について
- 9、金融機関貸付実行報告
- 10、8月末財務状況報告
- 11、8月末組合員加入・脱退状況報告
- 12、9月の動静と10月の予定について

（閉会・午後3時08分）

JAさっぽろDATA

（令和元年9月末業務実績） （令和元年8月末業務実績）

組合員数	正組合員	3,675名	正組合員	3,679名
	准組合員	31,930名	准組合員	31,845名
	合計	35,605名	合計	35,524名
出資金残高	60億1千万円	58億9千7百万円		
販売取扱高	10億8百万円	7億1千8百万円		
購買供給高	6億2千5百万円	5億5百万円		
貯金残高	3,282億1千1百万円	3,267億1千9百万円		
融資残高	881億3千8百万円	869億9千4百万円		
共済保有高	5,965億3千5百万円	5,959億9千3百万円		
施設建設取扱高	5千5百万円	5千5百万円		
管理受託戸数	4,573戸	4,552戸		